

# 石垣市周辺海域実態調査 記者発表

日時：令和4年2月1日（火） 14時～  
場所：石垣市役所2階 庁議室

## 調査目的

本市は、広大な海に囲まれ、その自然環境は本市の貴重な財産であることから、周辺海域の維持・保全及び利活用は重要な課題であり、石垣市海洋基本計画（平成25年策定）においてもその取組について言及されている。

また、本市はSDGs未来都市に選定されており、持続可能なまちづくりの推進に取り組んでいる。

本事業は、SDGsが掲げるゴール14「海の豊かさを守ろう」の達成に寄与する取組の一環として、また、本市の海洋に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な政策をまとめた石垣市海洋基本計画の実行の一環として、石垣市の周辺海域の維持・保全及び利活用のため、プランクトン等の生物調査、水質及び海流等の海洋調査を実施するとともに、海洋プラスチックゴミや海岸漂着ゴミの実態を把握することを目的とする。

## 調査概要

◆日時 1日目：令和4年1月30日（日） 17時出港 ～ 航海・調査 ～ 1月31日（月） 17時帰港  
2日目：令和4年2月 1日（火） 8時出港 ～ 航海・調査 ～ 14時帰港

◆調査内容 景観調査 海洋調査

◆調査地点 1日目 ①尖閣諸島周辺海域  
2日目 ②石垣島北西海域



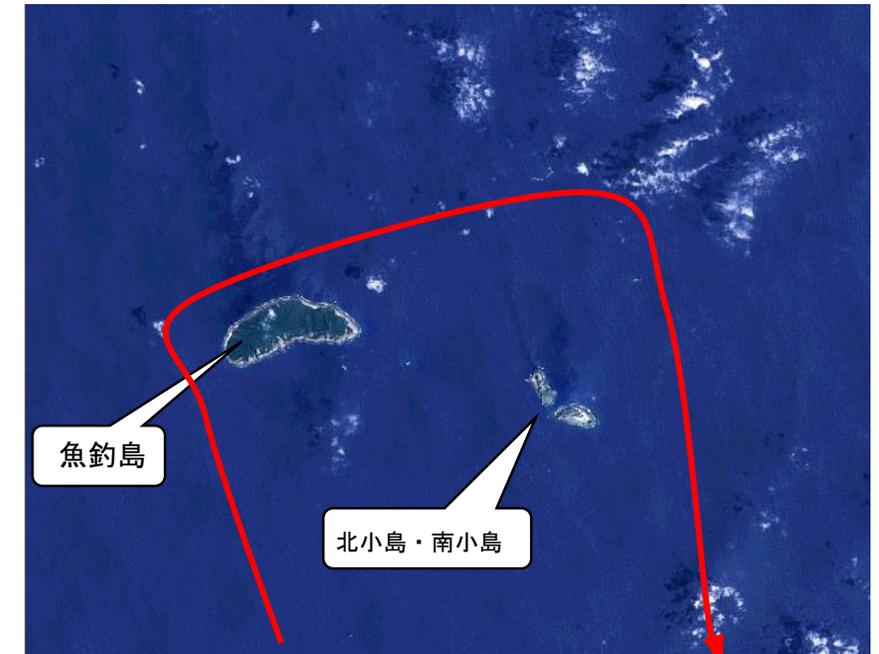
## 使用船舶 海洋調査研修船「望星丸」



### 船舶

- ◆名称 望星丸
- ◆国際総トン数 2,174トン
- ◆全長 87.98m
- ◆航海速度 15ノット
- ◆最大乗船定員 計190名 (含 乗組員)

### 航海ルート



## 調査内容

### ◆景観調査

調査活動の状況や、海岸漂着ごみの状況、自然景観、海洋生物、地形・地質等を撮影する。

### 調査方法

カメラやビデオ、ドローンにより撮影。

### ◆海洋調査

生物相分析・・・海洋生態系の基礎となるプランクトン等の多様性並びに生物量についての現状を把握する。

### 調査方法

NORPAC (North Pacific Standard Net)

北太平洋標準ネットによる生物サンプルの採取。



NORPACネット  
太平洋海洋協議会で標準型として採用された長円錐型ネットであり、プランクトンの定量採集に用いられる。

海象調査・・・波浪等による海岸線への影響に関する知見蓄積のため様々な海象を把握する。

水質調査・・・生物生産性の向上に資するため、その源である栄養塩類の状況等を把握する。

### 調査方法

CTD (Conductivity Temperature Depth profiler)

水温、塩分濃度把握と水サンプルの採取。



CTD  
電気伝導度、温度、水深を観測する装置。電気伝導度と水温、圧力から塩分を計算する。

## 調査の様子

【1日目】

調査日時：令和4年1月31日（月）

調査区域：尖閣諸島周辺海域



魚釣島を視察



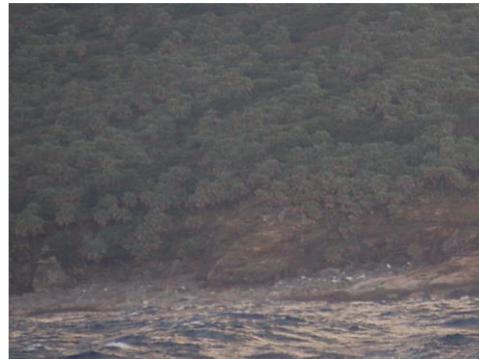
魚釣島を視察



海上保安庁による警護



漂流物



漂着ゴミ



水質のサンプリング

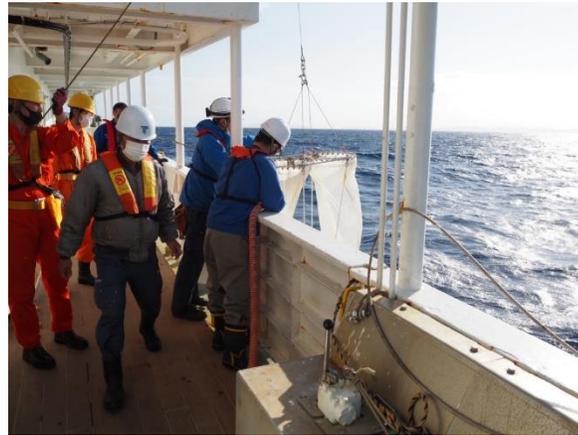
## 調査の様子

【2日目】

調査日時：令和4年2月1日（火）

調査区域：石垣島北西海域

### プランクトン採取の調査の様子



### 水質調査の様子

